

アート・アーカイヴ資料展 XXVIII

幽暗 Shadow World

朦朧と立ち上がる土方巽の振付世界

2026

1/19 (Mon.)

3/14 (Sat.)

慶應義塾大学
アート・センター
(三田キャンパス南別館1階アート・スペース)

11:00–18:00

休館日 | 土日祝日

1月31日(土)、3月14日(土)は開館

2月2日(月)、3月9日(月)は休館

入場無料

写真 | 《小林鶴齋舞踏公演》(「にがい光」)、撮影者不明、1977年
慶應義塾大学アート・センター／NPO法人舞踏創造資源

主催 | 慶應義塾大学アート・センター

協力 | 土方巽アスペスト館、NPO法人舞踏創造資源

助成 | 公益財団法人 花王芸術・科学財団



公益財団法人 花王芸術・科学財団

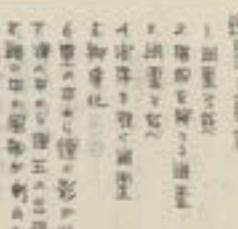
本事業は2025年度科学研究費基盤研究(C)「『動きのアーカイヴ』における実証的研究
—アーカイヴの創造的利用における国際連携—」(25K03758)の助成を受けています。

In the Shadows: The Obscure World of
Tatsumi Hijikata's Choreography
Introduction to
Art Archive XXVIII



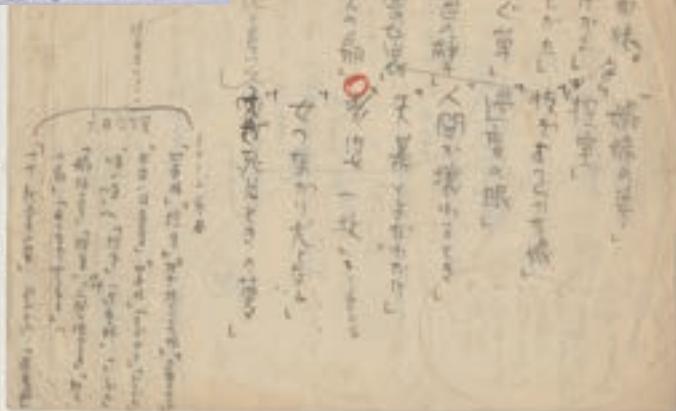
In the Shadows: The Obscure World of Tatsumi Hijikata's Choreography

Introduction to Art Archive XXVIII



《小林嵯峨舞蹈公演》〈にがい光〉、撮影者不明、1977年
慶應義塾大学アート・センター／NPO 法人舞踏創造資源

《小林嵯峨舞蹈公演》〈にがい光〉ポスター、1977年
慶應義塾大学アート・センター／NPO 法人舞踏創造資源



「舞踏譜スクリプトシート」、土方巽、年代不明
慶應義塾大学アート・センター／NPO 法人舞踏創造資源

お問い合わせ

慶應義塾大学アート・センター
108-8345 東京都港区三田 2-15-45
Tel. 03-5427-1621 Fax. 03-5427-1620
<http://www.art.c.keio.ac.jp>
ac-tenji@keio.adst.ac.jp



展覧会ウェブサイト

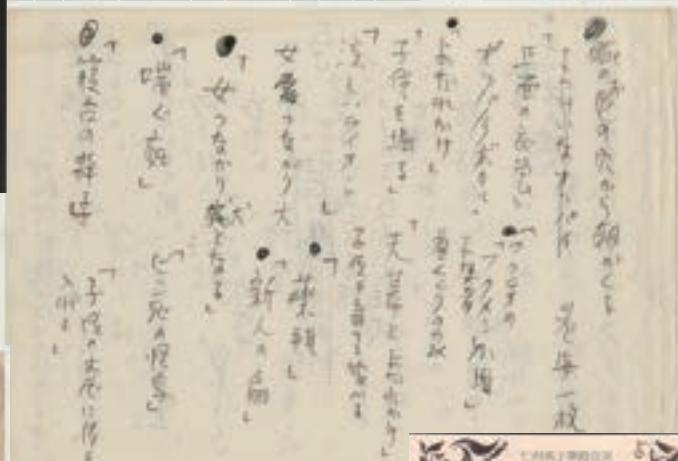


土方巽の舞踏は30年にも満たないものの、それでも1959年の〈禁色〉以来の土方巽の舞踏を一望することはむずかしい。とはいっても、土方巽が1970年を境に自らの舞踏を決定的に変えようとしたことは確かです。1960年代に「舞踏の運動」は遂行されましたが、土方巽はともに「運動」を担った舞踏家と決別して、新たな舞踏の創造に向かったのです。

土方巽自身が1973年に舞踏の舞台から降りたことは驚きでしたが、ここから「Butoh Score」として舞踏メソッドの本格的な構築に向かいました。

本展では「幽霊」を形象する特定の動きに着目するとともに、海外の新たな視点と新たな映像の手法を得て、舞踏譜をベースにした土方巽の舞踏メソッドを提示し問い合わせます。

そして現在から50年前にあたる1976年からの土方巽の創作活動の流れを俯瞰しつつ、中でも1977年《小林嵯峨舞踏公演》〈にがい光〉と1978年《仁村桃子舞踏公演・アスペクト館松代分室設置記念》〈最初の花〉の2作品を紹介します。



《仁村桃子舞踏公演・アスペクト館松代分室設置記念》
〈最初の花〉 ナラシ、1978年
慶應義塾大学アート・センター／NPO 法人舞踏創造資源



関連イベント

予定は予告なく変更されることがあります。詳細は展覧会ウェブサイトをご確認ください。

没後40年 土方巽を語ること XV

日時 | 2026年1月21日（水）18:00 開会（17:00 開場）

場所 | 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6F G-Lab（オンライン配信あり）

特別上映会「70年代後半における土方巽の振付II」

これまであまり注目されてこなかった1977年、1978年の下記2作品をVICコレクション*から上映します。
(上映会のオンライン配信はありません。)

日時 | 2026年3月12日（木）18:00 開始

場所 | 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6F G-Lab

18:00-20:00 《仁村桃子舞踏公演・アスペクト館松代分室設置記念》〈最初の花〉上映（1978年、1時間45分）

出演：仁村桃子、山本萌

日時 | 2026年3月14日（土）16:30 開始

場所 | 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6F G-Lab

16:30-18:10 《小林嵯峨舞踏公演》〈にがい光〉上映（1977年、1時間40分）出演：小林嵯峨、和栗由紀夫ほか

18:15-19:00 「Butoh Scores 研究発表」ローザ・ヴァン・ヘンスバーグ（アート・センター所員、イェール大学准教授）

*VIC (Video Information Center | 1972-現在) は、70年代から80年代にかけてビデオを用いて、多種多様なイベントの記録および実験的なテレビ放送（アパートでのCATV放送の試み「Paravision Ten」1978年）等を行った運動体です。（助成：令和7年度 文化庁メディア芸術アカペラ推進支援事業「1970年代以降のパフォーマンスおよび展覧会のビデオ記録のデジタル化・レコード化Ⅲ」）